

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田県秋田市八橋大畑
2-3-1
名称 株式会社 Local Power
代表者 代表取締役 寺田 耕也

株式会社 Local Power

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

地域に潜在する価値を活用し、地域だからこそできるビジネスがその地域で興りやすい環境や風土を創ることで、資源および人材の地産地消に取り組みます。それにより、資源やエネルギーの浪費を縮小し、活用しきれていないあるいは見出されていない価値を創出することで、持続可能かつより幸福な地域社会の実現を目指します。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告) 初回登録年月日：R3年11月19日</small>	関連する主な SDGs ゴール (最大3つ)
☑経済 ☑社会 ☑環境	地域の人的・物的資源を活用した研究開発により、公衆衛生や農業になど係る革新的な製品を生み出す。	公衆衛生関連製品の充実と新規開発および化粧品工場の立ち上げとラインナップ充実などを通じて、地域雇用の創出や未活用資源の活用を進める。 農業や食品分野への技術応用に関して、県の大学や研究機関との連携による成果を製品化する。	令和3年11月12日に化粧品製造と化粧品製造販売業の許認可を取得し、化粧品工場をにかほ市に設立。化粧品として公衆衛生関連製品を上市、また地域雇用を創出。このほか、県立大学との共同研究で稲の種子消毒に対する病害防除効果についての研究成果が日本植物病学会にて学生優秀発表賞を受賞。現在、農業分野への実装に向けて製品開発に取り組んでいる。	3 9 8

<input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	<p>地域の未利用および休眠資産の再活用によって、地域に新たなビジネスを創出する。</p>	<p>地域の未活用資産を使ったビジネス数を増加させていく (2021年：3案件→2030年20案件)。また、その事例によって、地域ならではのビジネスが創出されやすい風土をつくる。</p>	<p>① シェアレストランの運営。新たな利用者へのマッチングにより、ビジネス化のプラットフォームを推進。 ② 川尻に所在する空き家を海外技能実習生の宿泊施設として改修を完了。実用化に向けて事業枠組みを構築中。 ③ 空き倉庫を改修・リノベにより設立したシェア体育館運用推進。また、同施設のネット環境整備により行政の会議利用など多展開。</p>	<p>8 11 17</p>
<input type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	<p>社会貢献活動への積極的参画や社内へのSDGs浸透と自発的な取り組みの推進</p>	<p>社内における参画人数と回数の増加 2030年に社内参画比率(人数)80%を目標とする。</p>	<p>本年度入社の新入社員がシェアレストランの活用事業を中心になって担当。また、主力製品である「アイポッシュ」のボトルを紙製ボトルへの変更について部署を横断して取り組んでおり、50%以上の参画人数となっている。</p>	<p>1 4 17</p>

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	